

“配水の安全と豊潤を祈願” 第42回香川用水水口祭(みなくちさい)

〈四国土地改良調査管理事務所〉

令和8年6月11日(木)、香川県三豊市財田町の香川用水記念公園(東西分水工)において、先人の遺徳を称えとともに配水の安全と豊潤を祈願する『香川用水水口祭』が、香川用水土地改良区の主催により開催されました。

讃岐平野では昔から苗代田の「水口」(みなくち:田に水を引き入れる口)に御札を立てお供えをし、水への感謝と祈りを捧げる風習がありました。これにちなみ、早明浦ダムの水が吉野川から阿讃導水トンネルを経て、香川県に最初に姿を見せる香川用水東西分水工を「水口」に見立て、「水口祭」を斎行しています。

当日は、香川県知事ほか、関係する市町の首長と土地改良区理事長等とともに、四国土地改良調査管理事務所長が神事に参列し、玉串を奉納し配水の安全と豊潤を祈願しました。「神酒奉灌」において御神酒をトンネルの出口に注ぐと、東西分水工から噴水が約5mほどの高さに吹き上がりました。

また、式典では、香川用水土地改良区理事長から香川用水の恩恵や国営香川用水二期土地改良事業への感謝の意が表されました。

式典後には、地元保存会による財田鉾踊り、財田町長野獅子による獅子舞や大野原靄王(りゅうおう)太鼓の奉納のほか、うどんの接待もあり大勢の人で賑わいました。

四国土地改良調査管理事務所では、香川県拠点と連携して、香川用水と農業との関わり、農業・農村のめぐみ(多面的機能)及び農業農村整備事業等についてパネルで紹介するとともに、各種パンフレットや手作りの下敷き、しおりなどを配布し、農業農村整備事業や農政の広報活動を行いました。



神酒奉灌



財田鉾踊り



財田町長野獅子



事業PRの様子



噴水の様子



大野原靄王太鼓